



# 2021年6月3日『朝礼時法話～報告事項』

## 法話概略【仏事を勤める意味】

先日、S.Kさんがご家族に見守られながら安らかにご往生されました。短期入居利用からしますと、実に6年半の関わりがありました。思い出深いおばあちゃんのお一人でしたが、ご葬儀の場で、ひ孫娘さんがこうおっしゃっていました。

『ひっこばっちゃんは、私たち姉妹を本当にかわいがってくれました。いつも優しく、怒る事など一度もなく、私たちが泣いている時はいっしょに傍にいてくれる暖かいひっこばっちゃんでした。いっしょに家の周りの草むしりをした思い出や、移動販売の車がくる日にはいっしょに手をつないで買いに行った事が本当に楽しかった事を覚えています。私は24歳になりました。ひっこばっちゃんのようなステキな女性に私も成れるかな？私もひっこばっちゃんのようなステキな女性に成りたいです。』

というほっこりするお別れの言葉でした。きっと、弔辞やお別れの言葉は、亡き人に手向けている言葉でありながら、その亡き人からしてもらった事や教わった事などを自分はきちっと携えて生きて行きます…という宣言なのだと感じているのです。

その意味では、その後の回忌法要なども大事な意味を持っていて、お葬式の辺りの急場では気づけなかった事などが、時間を掛けて振り返ってみて気づく事に繋がったりする事があります。亡き大事な人とのそのような貴重な時間を与えてくれる一つに、回忌法要の仏事があるのだと思います。

年を重ね、時間が経った今だからこそ、また一味違う感覚で亡き人の心に出会える貴重な場を、皆さんも大事にして頂けたらなあと思っています。

今朝は、S.Kさんとひ孫さんとの尊い関係を前に感じさせられた事からお話をさせて頂きました。

「そのあと」 谷川俊太郎

そのあとがある  
大切なひとを失ったあと  
もうあとはないと思つたあと  
すべて終わったと知つたあとにも  
終わらないそのあとがある

発行 眞宗大谷派宗務所 東本願寺 出版部  
〒600-8005 京都府下京区西京町1-1-1  
TEL 075-3371199 総機  
FAX 075-3371192 編集  
http://www.higashi-honganji.or.jp/ <http://www.higashi-honganji.or.jp/>  
イラスト/デザイン/牛島雄世  
監修 刀馬法苑  
デザイン/DESIGNER JUN A

年忌	法事を行う年
1 開忌	1 年後
3 回忌	2 年後
7 回忌	6 年後
13 回忌	12 年後
17 回忌	16 年後
〈 23 回忌 〉	22 年後
25 回忌	24 年後
〈 27 回忌 〉	26 年後
33 回忌	32 年後
〈 37 回忌 〉	36 年後
50 回忌	49 年後

※50回忌以降は、50年毎に勤めます。  
※地域によっては（）内やそれ以外の年忌法要を勤める場合もありますので、ご寺院にお尋ねください。

HIGASHI HONGANJI  
東本願寺出版部

## 今年度の部署・ユニットの目標について

今年度の部署・ユニットの目標が揃いましたので、各部署にて改めてご確認をして頂きたいと思っております。

【光寿合理事長】